

広域振興局長

提出者 株式会社アイオー精密
住所 岩手県花巻市東十二丁目17-1-1
氏名 代表取締役社長 鬼柳一宏

（法人にあつては、その名称及び代表者の氏名）

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

主たる工場又は事業場の名称	株式会社アイオー精密 本社工場	*整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	花巻市東十二丁目17-1-1	*受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	2,094 kl	*施設番号	
自動車の使用台数	台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者			

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
本社工場	花巻市東十二丁目17-1-1	1,126 kl
特注パーツ工場	花巻市東十二丁目19-10-54	355 kl
東和工場	花巻市東和町小友1区385-1	611 kl

備考1 *印の欄には、記載しないこと。

- 2 エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載すること。
- 3 エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 4 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 5 2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に（別途） 覧を作成の上、添付してください。（A4）

別紙 その1 (工場又は事業場用)

1 二酸化炭素の排出の状況

当該年度のエネルギー使用量				二酸化炭素の排出の状況				
	項 目	使用量 (A)	原油換算量 (kℓ)	排出係数(B)	当該年度の排出量 (C=A×B) (t-CO ₂)	前年度の排出量 (D) (t-CO ₂)	対前年度比 (%) (D・C)/D×100)	
燃料及び熱	原油 (コンデンセートを除く)	kℓ		2.62 t-CO ₂ /kℓ				
	原油のうちコンデンセート (NGL)	kℓ		2.38 t-CO ₂ /kℓ				
	揮発油	kℓ		2.32 t-CO ₂ /kℓ				
	ナフサ	kℓ		2.24 t-CO ₂ /kℓ				
	灯油	kℓ		2.49 t-CO ₂ /kℓ				
	軽油	kℓ		2.58 t-CO ₂ /kℓ				
	A重油	kℓ		2.71 t-CO ₂ /kℓ				
	B・C重油	kℓ		3.00 t-CO ₂ /kℓ				
	石油アスファルト	t		3.12 t-CO ₂ /t				
	石油コークス	t		2.78 t-CO ₂ /t				
	石油ガス	液化石油ガス (LPG)	234 t	307	3.00 t-CO ₂ /t	702.1	372	89
		石油系炭化水素ガス	千m ³		2.34 t-CO ₂ /千m ³			
	可燃性天然ガス	液化天然ガス (LNG)	t		2.70 t-CO ₂ /t			
		その他可燃性天然ガス	千m ³		2.22 t-CO ₂ /千m ³			
	石炭	原料炭	t		2.61 t-CO ₂ /t			
		一般炭	t		2.33 t-CO ₂ /t			
		無煙炭	t		2.52 t-CO ₂ /t			
	石炭コークス	t		3.17 t-CO ₂ /t				
	コールタール	t		2.86 t-CO ₂ /t				
	コークス炉ガス	千m ³		0.85 t-CO ₂ /千m ³				
	高炉ガス	千m ³		0.33 t-CO ₂ /千m ³				
	転炉ガス	千m ³		1.18 t-CO ₂ /千m ³				
	その他の燃料	都市ガス	千m ³		2.23 t-CO ₂ /千m ³			
		()	()		t-CO ₂ /()			
		()	()		t-CO ₂ /()			
	産業用蒸気	GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ				
産業用以外の蒸気	GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ					
温水	GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ					
冷水	GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ					
小計			307		702.1	372	89	
電気	電気事業者	昼間買電	4896 千kWh	1259	0.488 t-CO ₂ /千kWh	2389.2	2436	▲ 2
		夏期・冬期における電気需要平準時間帯	千kWh					
		夜間買電	3131 千kWh	750	0.488 t-CO ₂ /千kWh	1527.9	1348	13
	その他	上記以外の買電	千kWh		0.550 t-CO ₂ /千kWh			
		自家発電	千kWh					
	小計		8027 千kWh	2009		3917.1	3784	4
合計			2316		4619.2	4156	11	
※ 燃料を用いて自家発電した電気のうち、他社に販売した量		千kWh		t-CO ₂ /千kWh				
合計								

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)

第4条の方法により換算してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。

3 エネルギー使用量の使用量(A)の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

4 「夏期・冬期における電気需要平準時間帯」については、昼間買電の内数であるため「()」としている。「電気」の「小計」で重複計上しないでください。

5 「燃料を用いて自家発電した電気」を他者に販売した場合、その量と排出係数を適切な方法で算出し、※の行に正の値で入力してください。

2 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

目標値 : 2023年度までに3%削減

達成状況: 目標達成。2023年度は、2021年比で約6%の削減となりました。

直近3ヶ年の原単位は下記です。

・2021年 2242kl

・2022年 2229kl

・2023年 2092kl

【具体的な取組状況】

○省エネルギー

①省エネお助け隊の診断を実施しております。

②全工場でエア漏れ点検・修繕によるエア使用量削減による電気使用量の削減を毎年継続中。

③エアコンの温度と湿度を管理し、ON・OFFを役職者が管理。

④各生産設備機器類の、停止時間管理を徹底することによる設備待機電力の削減。

⑤照明器具をLEDに切り換えを完了。出来る場所については人感センサ/週間タイマを使用した照明制御を展開中。

⑥新規購入する場合のフォークリフト車は電気タイプへ切り換え中です。

⑦自動販売機を省エネ型に入替しました。

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

3 その他の地球温暖化の対策の実施状況

①2024年6月1日より本社工場の一部電力(30%)を再生可能エネルギー由来のCO2フリー電力

「よりそう、再エネ電気」を導入いたしました。この契約により、CO2年間排出量として595tを削減することができ、2023年度のCO2年間排出量で試算すると13%の削減となります。

②ソーラー発電による省エネ工事対策を開始いたしました。

2024年11月～2025年上期: 東和工場

2025年下期: 本社工場